

# 令和6年度東京都スポーツ少年団競技別交流大会【空手道競技】

## 団体戦の部 エキシビジョン 実施要項

主催：公益財団法人東京都スポーツ協会・東京都スポーツ少年団

主幹と趣旨：東京都スポーツ少年団指導者協議会及び空手道部会による少年団員に競技する機会を与え、相互の交流を深めあわせて団員の確保と増加につながる活動を目的とする。

1 競技規則 公益財団法人全日本空手道連盟 空手道競技規則に準じて、東京都スポーツ少年団空手道部会の申し合わせ事項により行う。

2 日時と場所 令和6年6月23日（日）東京武道館大武道場

3 競技種目（団体戦の形・組手、男女混合のトーナメント方式）

① 団体戦 低学年の部 先鋒小学1年生・中堅2年生・大将3年生の3名による団体戦とする。  
（先鋒は幼年の年長に限り可・中堅は1年生も可・大将は2年生も可）

② 団体戦 高学年の部 先鋒小学4年生・中堅5年生・大将6年生の3名による団体戦とする。  
（先鋒は3年生も可・中堅は4年生も可・大将は5年生も可）

4 競技規則ほか

- 1, 関東ブロック大会選考会のその種目の対象者は出場できない。
- 2, 2名でも出場可（その学年に於いて競技する）、1名は不可
- 3, その団体に於いて選手の入替は認めず。
- 4, 形・組手両方に出場できる。（形・組手それぞれ別の選手が望ましい）
- 5, 勝敗が決まっても大将戦まで行う。
- 6, 1回戦で負けたチームは同、負けたチームと1回のみ交流戦を行う。
- 7, 各団各種目2チームの出場とする。但し16チームに満たない場合はその限りではない。
- 8, 2面コートで行う。午前形・午後組手とする。

5 競技方法（1）形競技

- ア 二人同時に演武する。（赤・青旗判定）
- イ 1回戦から決勝まで同じ基本形を続けて演武することができる。
- ウ 準決勝から、及び交流戦は「全空連」第1・第2指定形及び得意形の中から選んで演武することもでき、決勝も同じ形を演武できる。

（2）組手競技

- ア 競技時間は1分フルタイム 4ポイント差とする。
- イ 同点引き分けの場合は、審判団の判定により勝敗を決する。
- ウ 防具は低学年の部はメンホーは着用しない。拳サポーターは赤/青/白のグローブタイプのみを着用し、インステップガードも着用する。  
高学年の部はメンホー、インステップガード、男子ファールカップを着用する。  
拳サポーターはリバーシブル及びグローブタイプの赤・青とする。  
シンガード・ボディプロテクターは任意とする。

※形・組手ともマイ赤・青帯は使用可

6 表彰 優勝と準優勝にはメダルを授与する。

7 その他 ※令和6年度スポーツ少年団員登録者に限る。  
それ以外の者が出場発覚した場合は厳重に処罰する。  
競技運営に関するすべてに於いてクレームは一切受け付けない。  
競技運営上の責任は全て競技委員長が負う。

8 出場費 1チーム6,000円とする